

科学技術の未来をも変える 「ジェンダーサミット10」開催

平和で人権が尊重された社会を築くため、多くの国際機関や各国政府はジェンダー平等の推進や女性の地位向上を目標とした政策を掲げている。生物学的な性差に対して、男性、女性にふさわしいと考えられている役割、行動や地位など社会的、文化的に形成された性差がジェンダーと呼ばれる。科学技術の発展にも、ジェンダーの視点を取り入れることが欠かせない。

2011年、欧州で始まった「ジェンダーサミット」は、ジェンダー

を科学技術にとって重要な要素であると捉え、研究開発やその成果の質の向上、ジェンダーに関連する世界の諸問題の解決をめざそうという国際会議である。ジェンダーの視点は、その先に生まれるイノベーションの質を大きく変える可能性を秘めている。

欧州のみならず米国やアフリカ、アジアなどで年に複数回開催されるようになり、その理念と活動は世界に広がりつつある。第10回が今年5月、いよいよ日本で初めて開催される。



昨年ベルギー・ブリュッセルの欧州議会で開催された「ジェンダーサミット9」

